

# 公共用水域における PFOS 及び PFOA の調査

研究期間：令和3年度～令和4年度

宮城県保健環境センター 水環境部

## 背景と目的

- PFOSはペルフルオロオクタンスルホン酸、PFOAはペルフルオロオクタン酸の略称で、いずれもフッ素を含む有機化合物の一種です。
- **撥水性と撥油性を併せ持つ**特異な性質を有していることから、これまでに泡消火剤や半導体製造など様々な用途に使用されてきました。
- 化学的に極めて安定性が高く、水溶性かつ不揮発性の物質であるため、環境中に放出された場合には河川等に移行しやすく、また難分解性のため、**長期的に環境に残留する**ことが問題視されています。
- 人の健康への影響については、どの程度の量が身体に入ると影響がでるかについてはいまだ確定的な知見がなく、現在、国際的に様々な知見に基づく検討が進められています。
- 河川や飲み水などにおける**暫定的な目標値**として、PFOS及びPFOAの合計値で**50 ng/L 以下**とされています。

## 宮城県内の公共用水域及び地下水における PFOS及びPFOAの環境実態調査



人の健康の保護及び生活環境の保全に向けた  
環境行政を行うためのデータを蓄積する

## 内容

- 宮城県の環境基準点を中心とした県内主要河川における水質調査
- 宮城県の地下水における水質調査

## 成果

- 河川水等では全ての測定地点で暫定的な目標値（50ng/L）を下回りました。
- 地下水では、令和2年度に環境省が実施した有機フッ素化合物全国存在状況把握調査で暫定的な目標値が超えていることが確認された1地点を除き、全地点で暫定的な目標値を下回りました。